

# 放射線科



- 診療科概要：病棟業務はありません
  - 放射線科は、臨床研修中の2年次に選択いただけます。
  - 診療科の放射線科(画像診断, IVR), 放射線治療科についての研修が可能です。
  - 設備は診断用X線CT3台, MRI2台, 血管造影装置(頭部, 腹部) 2台 (うち手術室ハイブリッド血管撮影装置1台), PET-CT装置1台, 放射線治療装置 (IMRT対応) 1台などです。放射線科医が作成している読影レポート件数は1日に院内分が約150件です。このほかに遠隔読影も行っています。新規放射線治療登録は年間約450名です。
- IVRは、出血に対する塞栓など種々の緊急IVRや、悪性腫瘍に対する動注・塞栓療法, 様々な血管性・非血管性病変に対する治療・検査など多岐にわたり, 年間450件以上の症例があります。
- 毎年多くの方が4週間～8週間の研修を受けられます。研修中は専用の読影端末を使用できます (最大1名まで)。「救急当直の時に困らないように, 脳血管障害や急性腹症の画像の勉強をしたい」「急性期の疾患をたくさん経験したい」「将来専攻したい分野の画像を重点的に見ておきたい」など, 画像診断やIVRを勉強したい方に最適の環境を目指しています。
- スタッフは放射線診断専門医5名 (うちIVR専門医1名), 放射線治療専門医1名, 放射線科専攻医2名の合計8名です。

# 放射線治療科

放射線治療部門において、医師、診療放射線技師、看護師など、多職種が連携協力しながら、業務を行っています。

当院には放射線治療装置1台が整備され、X線2種類と電子線6種類が使用可能です。ほぼすべての患者さんに対して、この装置で放射線治療を実施し、1日約20名前後の治療を行っています。なお一部の患者さんについては、放射性ヨードを内服して治療する内用療法を実施しています。

当院において放射線治療を実施する患者さんは乳癌、肺癌、前立腺癌をはじめとして、頭部から四肢に至るまで、全身の病変が対象になります。また幹細胞移植前の全身照射も実施しています。さらに強度変調放射線治療や定位放射線治療などの高精度放射線治療も施行しています。

治療を開始するに当たり、治療内容や副作用など、丁寧に説明し、患者さんの理解と了承が得られたうえで、準備に取り掛かるようにしています。

放射線治療を担当する職員は、医師2名(放射線治療専門医1名, 放射線科専門医1名)、診療放射線技師4名(医学物理士1名、放射線治療品質管理士2名、放射線治療専門技師2名)、看護師3名 (がん放射線療法認定看護師1名) です。

